

## VI 生涯学習の推進

### 1 学習機会の充実

生涯学習センターや地域のコミュニティセンター等で開催する講座を充実させ、市民の学習ニーズに応えるとともに、学習成果をいかすことができる環境づくりに取り組みます。

#### (1) 多様なニーズに応じた学習機会の充実

##### 現状と課題

市民一人一人が、社会の中で豊かな人生を送るためには、社会の変化や多様化に常に対応できるよう生涯にわたり学び続けることが求められています。また、市民が求める生涯学習の内容は、性別・年代等で違い、広範囲にわたるため生涯学習に対するニーズは多様化しており、幼年期から高齢期までのそれぞれのライフステージに応じた学習活動を支援し、生涯にわたって学ぶ意欲・意識の醸成が求められています。

そのため、市民が必要な情報をスムーズに入手できるよう、学習機会についての幅広い情報を提供することが重要となっています。

##### 対応方針

- 市民一人一人の生きがいづくりや市民主体の地域活動を推進するために、幼年期から高齢期までのそれぞれの学習ニーズを把握し、生涯学習センターやコミュニティセンターを中心に、様々な学習機会の提供を目指します。
- 高齢者、障がい者を含め、全ての人々が、生涯を通じて学べる機会の充実を目指します。
- 生涯学習センター等において、市民団体・NPO法人・民間事業者等の参画を得て、現代的・社会的な課題に対応した講座等を実施するなど、学習内容の充実を目指します。
- 市民の学習意欲の向上や学習への参加を促すため、広報紙やホームページを始めとする各種情報媒体を有効活用し、効果的な学習情報の発信を目指します。

##### 施策内容

- 「生涯学習カレッジ事業」、「コミュニティセンター講座」等のほか、「知的障がい者青年教室」等の実施により、多様な学習ニーズに応じた学びの機会を提供します。
- 民間事業者、他団体等の協力を得ながら、学びの機会を充実します。
- 広報紙、ホームページ、SNS等を活用し、学習情報の発信を行います。

##### 用語解説

- 「生涯学習カレッジ事業」  
生涯学習センターにおいて環境や少子高齢化、情報化など現代的課題や専門的なテーマに関する講座を開催する事業

## (2) 学習成果をいかせる環境づくり

### 現状と課題

人生100年時代をより豊かに生きるため、生涯にわたって自ら学習し、自己の能力を高め、働くことや、地域や社会の課題解決のための活動につなげていくことの必要性が一層高まっています。

生涯学習を通じた個人の生きがいづくりや仲間同士の活動を、まちづくりや地域の活性化等につなげていく仕組みづくりが今後重要で、そのためには、活動の核となる人材の発掘や養成とともに、多彩な知識や技能を持つ人々を効果的に活用する方策の充実が求められています。

### 対応方針

- 学習の成果を地域や社会でいかすことのできる環境を整えるため、学習成果を活用し、活躍できる場や機会の充実を図ります。
- 学びの核となる人材の育成に取り組むとともに、ボランティア活動や市民活動など、地域の人づくりやまちづくりにつながる活動を支援します。

### 施策内容

- 「高松市まちづくり学校事業」や「高松市協働企画提案事業」等により、地域づくりの担い手となる人材を育成し、学びの成果をいかした地域活動への支援を行います。
- 「学習成果発表の場事業」等の実施により、学びの成果を発表する場や機会の充実を図ります。
- 「生涯学習コーディネーター養成講座」、コミュニティセンターにおける「生涯学習リーダー養成講座」等の実施により、学びの核となる人材育成の推進を図ります。
- 市民活動センターにおいて、様々な市民活動・ボランティア活動の情報提供や各種講座を実施するとともに、市民活動への支援を行います。

### 用語解説

- 「高松市まちづくり学校事業」  
高松市自治基本条例に掲げる、市民主体のまちづくりを推進するため、既存の市民活動団体やまちづくりに取り組む個人の知見をいかし、熱意や問題意識を持った人の思いを高め、実際に活動を始めるための助言を与えることで、地域やまちづくりを担える人材（団体）を育成する事業
- 「高松市協働企画提案事業」  
市民活動団体等の専門性・先駆性・迅速性などの特性をいかした企画提案を募集し、本市との協働で事業を実施することにより、一層の市民サービスの向上及び市民活動団体等のスキルアップを目指す事業
- 「学習成果発表の場事業」  
市民がこれまで培ってきた知識や技術の成果を生涯学習の分野でいかす機会として、学習成果の発表の場を提供することにより、市民の多様な学習活動を支援する事業

## 【施策の目標】

項 目	H26年度末数値	H30年度末数値	R5 年度末目標値
まなびCAN及びコミュニティセンターの講座の参加者数等	609,561人	580,021人	637,000人
「学習成果発表の場事業」の開催講座回数	—	28講座	40講座



## 2 学習施設・機能の充実

市民の多様な学習ニーズに応えるため、生涯学習センターやコミュニティセンターの充実を図るほか、図書館においては、資料の充実や、専門職員によるレファレンス・サービスの充実等に取り組みます。

### (1) 学習施設・機能の充実

#### 現状と課題

近年、社会情勢が変化する中、人生100年時代を見据え、誰もが生涯にわたって学び活躍することができるよう、生涯学習センターやコミュニティセンター、図書館等の生涯学習施設の充実・活用を通じ、市民の生涯学習の推進や、地域の課題解決を支援していくことが求められています。

#### 対応方針

- 全市的な生涯学習の拠点施設として、民間教育施設では対応が困難な現代的課題に関する講座や他団体との事業連携を通じ、生涯学習センターのより効果的な活用を目指します。
- 地域の生涯学習の活動拠点となるよう、コミュニティセンターに生涯学習推進員を配置するとともに、施設の整備・充実を図るなど、魅力のある学習事業や地域の課題を解決する取組を展開します。
- 図書館資料とレファレンス・サービスの充実等により、市民や地域の様々な課題解決のための支援に努めます。

#### 施策内容

- 生涯学習センターのより効果的な活用を図るため、「センター利用促進事業」等を実施するほか、講座の充実に取り組みます。
- コミュニティセンターでの生涯学習活動を促進するため、「コミュニティセンター講座」等の講座の充実に向けた支援を行います。
- 図書館資料・情報を幅広く、また、ニーズに合わせて収集し、その情報を積極的に広報し、活用を促進します。
- 図書館と庁内各部署や外部の専門機関等との連携を深め、レファレンス機能を強化します。

#### 用語解説

##### ●生涯学習推進員

地域の生涯学習をコーディネートするキーパーソンとして、「まなび」で「人」や「地域」を「つなぐ」、また、地域の力を創造する役割を担う者

- レファレンス・サービス  
何らかの資料や情報を求めている図書館利用者に対して、その必要とする情報又は情報源を効率よく入手できるように援助する図書館職員によるサービス
- 「センター利用促進事業」  
生涯学習センターに親んでもらうため、市民の参加しやすい講座や集客を意識した映画上映会等を開催する事業

**【施策の目標】**

項 目	H26年度末数値	H30年度末数値	R5年度末目標値
市民一人当たりの図書館図書貸出冊数	6.4冊	6.9冊	8.2冊
レファレンス年間件数	—	12,704件	13,200件



